

大阪Reportレポート



長野県大阪事務所・観光情報センター Report Letter Vol. 5 (2022.10.4)

関西の今＜トピックス＞

- <2025年大阪・関西万博> 万博への弾みに <https://www.expo2025.or.jp/>
 - ・2023年G7広島サミットの貿易大臣会合が大阪府で開催決定、会合は大阪市、歓迎イベントは堺市で実施を予定、万博への弾みに。今月25.26日には万博の国際企画会議も開催。
 - ・万博を先進技術の実証の場とする「未来のショーケース事業」第1段の3事業6社を発表
 - * 仮想空間（メタバース）に再現された会場をアバターが巡る「バーチャル万博」「デジタル万博」や自動運転と走行中に無線給電を行うEVバスの「スマートモビリティ万博」など
 - ・カウントダウンイベント開催、80機のドローンが夢洲の夜空に公式キャラ「ミャクミャク」を描く
- <観光> 今後のインバウンド需要に期待
 - ・11日からの水際対策緩和と円安メリットでのインバウンド需要回復に期待も従業員確保が課題
 - ・将来需要に備えて「関西3空港懇談会」が2030年目途に神戸空港の国際化と関西空港の発着回数年間30万回（3割増）とすることを合意。神戸空港国際チャーター便は万博の2025年から
 - ・今月放送開始のNHK朝ドラ「舞いあがれ！」は、町工場に生まれたヒロインのストーリーで、「ものづくりのまち東大阪」が舞台
- <産業> 資源高・円安で企業物価上昇、先見据えた投資も
 - ・資源高に円安の拍車がかかり輸入コスト増による企業物価が上昇、関西の企業も業種や規模によっては、コロナ禍からの業績回復の減速が顕著に
 - ・大阪最後の一等地、大阪駅北側再開発エリア「うめきた2期」の開発進む。スタートアップを取り込んだ「みどりとイノベーションの融合拠点」がコンセプト、2024年度に先行街開きを予定
 - ・新名神高速道路全線開通見据えて、京田辺市・茨木市など内陸部に物流拠点建設開発の動き加速

大阪での取り組みの今

最近のトピックスと「上高地あずさ珈琲との取り組み」を紹介

- 「魅力いっぱい！関東甲信越6県の観光展」(9/2～3：天神橋二丁目商店街「いこいの広場」)
⇒秋からの各県の魅力をアピール、長野県ブースでは、観光パンフレットの配布・観光案内と併せて、特産品販売も行い、日本一長い商店街で信州の魅力をPR
- 「おいしい信州フード」期間限定ショップ(9/9～20：阪急大阪梅田駅2階中央改札内)
⇒上田市の事業者が、代表的な郷土食「おやき」や「そば」、「野沢菜」をはじめ、旬の果物の「シャインマスカット」「ナガノパープル」「つがる」等を期間限定で販売、真田幸村の甲冑も登場



<上高地あずさ珈琲との連携の取り組みを紹介>

【上高地あずさ珈琲】

- 関西地区で14店舗を展開する上質なカフェレストランで、特産品を販売するマルシェ風のセレクトショップを併設している。
- Web会員は約14万人、経営は(株)KRフードサービスで、最近、近畿長野県人会に法人会員としても加入、関西で信州の魅力を感じ、味わえるショップとなっている。



【長野県との取組】

- 令和2年秋から県営業局の商談会等を通じて、信州食材の取引が始まり、これまでに飯綱町産のりんごのスイーツフェア、信州サーモン・信州福味鶏のメニューや黒部ダムカレーの提供、市町村の観光PR・モニターツアーや長野地域振興局「ながの果物語PRイベント」などを実施
- 本年は2月「ららぽーと甲子園店」、7月「大阪ドームシティ店」、9月14日には大阪駅の一等地「阪急梅田三番街」に新店舗を開店、今後も新店の開業を模索中
- FDAや直行バスを活用した信州への旅の提案、美味しい味覚を紹介するコラボキャンペーンなどをこれまでに実施、新店舗においても、安曇野市や大町市、松川町などとコラボした観光物産PRやキャンペーンを展開中



大阪の拠点としての活動予定

10月は味覚の秋で大阪でのイベントも盛り沢山

- ★「須崎市物産フェア」(10/5: 天神橋筋二丁目商店街)
～シャインマスカットやりんごなど須坂市が誇る旬の農産物の販売～
- ★「戦国武将ゆかりの地観光物産展」(10/7～8: 天神橋筋二丁目商店街)
～戦国武将にスポットを当てた観光物産展、本県は大阪のヒーロー・真田幸村とゆかりの地を中心にPR～
- ★「日本列島心のふるさと観光展」(10/7～20: JR北新地駅みちまちスクウェア)
～在阪事務所の県が協働で出展、秋の信州をポスターパンフでPR～



